

- 問1 幕末から明治時代にかけての日露間の国境画定の経緯において、1855年の日露通好条約で定められた「樺太」の扱いと、その後の変化について述べた文として正しいものを選んでください。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 当初は国境を設けず両国民の混住地とされたが、1875年に一度ロシア領となり、1905年にその南半分が日本領となった。 | 2. 当初から北緯50度を境界線としていたが、ロシアの南下政策を背景に、1875年に全島が日本領となった。 | 3. 江戸時代から得撫島までを日本領としていたが、明治政府がロシアと交渉し、樺太全域を永久に日本領とした。 | 4. 最初は日本独自の領土として開拓が進められたが、ロシアとの武力衝突を経て、1875年に千島列島の一部と交換された。 |
|---|---|---|---|
- 問2 江戸時代に「天下の台所」と呼ばれ商業の中心地であった大阪周辺では、明治時代以降、私鉄による独自の都市開発が進められました。この開発において、当時の私鉄各社が安定した経営を行うために鉄道事業とあわせて展開した事業の内容として、最も適切なものを選択してください。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 鉄道の利用者数を増やすため、線路沿いの土地に住宅地や遊園地・宝塚歌劇などの観光施設を開発した。 | 2. 貿易を促進するため、駅の周辺に外国人居留地を設け、海外資本による商業ビルを建設した。 | 3. 都市部の過密化を防ぐため、郊外での鉄道駅建設を制限し、都心部のみに商業機能を集中させた。 | 4. 軍事輸送を優先するため、政府の資金援助を受けて大規模な官営工場の誘致と運営を行った。 |
|--|---|---|---|
- 問3 明治時代、日本の重工業化を推進するために福岡県に建設された官営八幡製鉄所について、その建設資金の主な財源と、燃料の供給源の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------|----------------------|---------------------|-----------------------|
| 1. 日清戦争の賠償金と、筑豊炭田の石炭 | 2. 日露戦争の賠償金と、常磐炭田の石炭 | 3. 外国からの借款と、夕張炭田の石炭 | 4. 地租改正による税収と、筑豊炭田の石炭 |
|----------------------|----------------------|---------------------|-----------------------|
- 問4 1901年に操業を開始した八幡製鉄所の建設資金の出所と、その背景について述べた説明として最も適切なものを選びなさい。 (2016年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|---|
| 1. 日清戦争の講和条約である下関条約で清から得た賠償金を主な財源とした。 | 2. 地租改正によって安定した租税収入をすべて建設費に充てた。 | 3. 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約で得た賠償金を主な財源とした。 | 4. 岩倉使節団が欧米諸国を視察した際、イギリスから受けた多額の経済援助を財源とした。 |
|---------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|---|
- 問5 1904年に日露戦争が勃発するに至った国際情勢の背景に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 日清戦争後にロシアが東アジアへの進出を強めたため、日本は1902年に日英同盟を結んでロシアに対抗した。 | 2. 三国干渉によってイギリスとロシアが同盟を結んだため、日本は1904年に単独でロシアに宣戦布告した。 | 3. 甲午農民戦争をきっかけに日本とロシアが直接開戦し、その後1902年に日英同盟が破棄された。 | 4. 1902年に日露戦争が始まったことを受けて、日本は戦局を有利に進めるために1904年に日英同盟を結んだ。 |
|--|--|--|---|
- 問6 18世紀から19世紀にかけての欧米諸国と、明治維新以降の日本における近代化の進め方の違いについて、その中心となった主体の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 1. 欧米：地主、日本：武士 | 2. 欧米：国王、日本：貴族 | 3. 欧米：政府、日本：市民 | 4. 欧米：市民、日本：政府 |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
- 問7 明治時代、政府は近代国家の基盤を整えるために新たな通信手段を確立しました。江戸時代まで行われていた「飛脚」に代わり、全国どこでも一定の料金で信書を送ることができるようになったこの制度の名称を答えなさい。 (2024年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 電信事業 | 2. 電話通話 | 3. ラジオ放送 | 4. 郵便制度 |
|---------|---------|----------|---------|
- 問8 下関条約の締結後に行われた「三国干渉」の背景やその後の影響に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 日本は三国干渉を拒否して遼東半島を保持し続けたが、その見返りとして清に賠償金を全額返還した。 | 2. イギリスが日本の勢力拡大を恐れ、ロシアやフランスと協力して日本に軍事的な圧力をかけた。 | 3. ロシアが自国の東アジア進出を有利にするため、日本が獲得した遼東半島の返還を要求した。 | 4. 三国干渉を受けた日本国内では、清への同情が集まり、その後の日清関係が劇的に改善した。 |
|---|--|---|---|
- 問9 明治政府は、ロシアとの国境を確定させるために1875年に条約を締結しました。この条約において、日本が樺太（サハリン）の領有権を放棄する代わりに、ウルップ島より北の全ての島々を日本領とすることを定めた条約を何といいますか。 (2025年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|--------------|------------|
| 1. 日露親条約 | 2. 下関条約 | 3. 千島・樺太交換条約 | 4. ポーツマス条約 |
|----------|---------|--------------|------------|
- 問10 1881年に明治政府が10年後の国会開設を約束したことを受けて、自由民権運動の指導者であった板垣退助を党首として結成された、日本で最初の政党を選びなさい。 (2025年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|--------|----------|
| 1. 日本自由党 | 2. 立憲改進党 | 3. 自由党 | 4. 立憲帝政党 |
|----------|----------|--------|----------|
- 問11 明治維新後の政治の流れを整理したとき、1874年に板垣退助や後藤象二郎らが政府に提出し、自由民権運動が本格的に始まる直接のきっかけとなった文書の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|---------------|------------|
| 1. 教育勅語 | 2. 五箇条の御誓文 | 3. 民撰議院設立の建白書 | 4. 大日本帝国憲法 |
|---------|------------|---------------|------------|
- 問12 伊藤博文が1882年からヨーロッパへ渡り、ドイツ（プロイセン）などの憲法を調査した主な目的として、最も適切な背景を説明したものを選びなさい。 (2021年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 自由民権運動の要求に全面的に応え、国民の権利を最優先した民主的な憲法を作るため | 2. 長州藩などの藩閥政治を維持し、内閣制度の導入を阻止するための理論武装をするため | 3. 不平等条約の改正を有利に進めるため、アメリカの合衆国憲法をそのまま導入するため | 4. 君主権の強い憲法を研究することで、天皇を中心とした安定した近代国家の仕組みを作るため |
|--|--|--|---|
- 問13 明治時代の産業革命により、日本の貿易構造は大きく変化しました。国内で機械による綿糸の生産が急増した際、原料である綿花の輸入量が増加した背景と仕組みについて、最も適切な説明はどれか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 国内の製糸業が衰退したことで、余った労働力を活用するために安価な外国産綿花を輸入して加工貿易を始めたため。 | 2. 政府が地租改正によって農民の綿花栽培を禁止し、すべての原料を海外からの輸入に頼る政策をとったため。 | 3. 紡績業において大規模な工場での機械生産が普及し、原料となる綿花の需要が国内での供給能力を大きく上回ったため。 | 4. 鉄道網の整備により内陸部への輸送が容易になったため、重工業の原料として綿花が大量に消費されるようになったため。 |
|--|--|---|--|